

# 静岡 パリ五輪を目指す選手と契約 第一商事

第一商事



未来のオリンピア（JXTG系）は昨年結んだ。遠征などに使う車両のガソリンを地元からサポートしようと、第一商事（本社・静岡県磐田市、清水聖也社長・）とスポンサー契約を

JXTG系）は昨年8月、自転車BMXパークの密岡奏央選手（清水聖也社長・）とスponサー契約を締めた。遠征などに使う車両のガソリンを使う車両のガソリンを目標としている。

1年分を支援する。応援契約について

パークは自転車を巧みに操り、ジャンプ台などを使って制限時間内に技の難易度や正確性を競う。

清水社長は、「地元に恩返しをしたいと全体で支援する輪が広がるきっかけにな

きトーニングに励む密岡選手。清水社長は、「SSSを運営しているので、移動に必要なガソリンを提供して手助けしない」と考えている。

「最近、密岡選手がパリ五輪の強化指定選手に選ばれたといいううれしい知らせが届いた。五輪に出場したら、社員旅行はパリにして皆で応援に行きたい」と熱い期待を寄せる。磐田の期待の星とともに、パリ五輪の切符をつかみにいく。

ガソリン1年分のボーディー（左）と密岡選手

密岡選手は同市立南部中学1年生の12歳の次男は密岡選手とながら、昨年4月に行われた世界大会アマチュアクラスで5位入賞を果たした有望株。2020年の東京五輪は年齢制限で出場できないため、父・信也さんは、父・信也さんとの手作り専用パークが

あり、平日はそこで練習している。

清水社長は全国高校総合体育大会（インターハイ）のソフトボール男子で、ベント16入りした経験を持つ。「どのスポーツも高いレベルを狙うには周りのサポートが大事。原石を埋もれさせてはいけない」と考えている。